

資料8 事前評価表(無償資金協力)

事前評価表 (無償資金協力)

1. 対象事業名
モロッコ王国 地方村落道路機材整備計画
2. 我が国が援助することの必要性・妥当性
<p>(1)わが国は、モロッコが、①穏健且つ現実的な外交政策をとり、中東和平問題の解決に尽力していること、②83年以降積極的に構造調整に取り組んでいること、③民主化努力を着実に推進していること等に鑑み、有償資金協力、無償資金協力及び技術協力の各形態により積極的に援助を実施している。</p> <p>98年4月には経済協力政策協議を実施し、①主要産業の一つである農業及び水産業の開発・振興支援、②限られた水資源の効率的利用のために、農業用水、飲料水確保のための水資源開発のための支援、③持続的経済成長を支える基礎インフラ整備分野への支援、④都市・地方間の格差是正のための地方開発分野への支援、⑤発展のための持続可能性確保のための環境分野での支援の5分野を重点とすることを確認した。なお、技術協力においてはこれらに加えて資源開発を中心とした鉱工業分野も重点対象としている。今後とも、同国の民主化、経済改革努力及び同国の最重要課題の一つである社会格差是正努力を支援するため、各形態による積極的な援助実施を検討していく方針である。</p> <p>(2)モロッコ国政府は貧困の軽減と地域間格差の是正により調和のとれた社会・経済の発展を目指して開発政策を進めているが、モロッコの人口約2,780万人のうち20%は依然貧困層の水準にあり、教育、保健、給水等の社会指数は同レベルの経済力の国に比較してより低い水準にある。これら貧困層に対する社会サービスの改善による人的資源の有効活用がモロッコの持続的な経済成長を達成する上で不可欠となっている。また貧困層は農村部に集中(全体の70%)しており、全体の1/4が中北部、東部、中南部の内陸部に集中している。一方、海岸地域では貧困層は僅か5%程度と地域間格差も大きい。このような背景のもと、政府は「社会優先計画」(SPP:Social Priority Program)を策定している。このプログラム(SPP)は、モロッコ全体で最も貧しい、最も都市化の遅れている12の県(総人口の27%、710万人が居住する)を対象として基礎社会サービスへのアクセスの改善と生産活動への参加機会の創出を目的としたものである。また、このプログラムにおいて政府は貧困層の多い農村部の輸送インフラ整備により農業の生産活動の活性化と社会サービスの充実を図り、農村住民の生活水準の向上と疎外状態からの解放を重点施策として実施した。</p>
3. 事業の目的等
<p>(1)現在モロッコの村落道路は総延長38,000kmが確認されているが、そのうち80%が未整備で、うち30%は年間30日以上通行不可能となる。従って、政府はこれら季節的に通行が不可能となる致命的区間を有する道路(11,236km)を重点的に整備優先目標として「村落道路国家計画」(PNRR: Programme National de Routes Rurales)を立てて1995年から整備を開始した。同計画の対象道路のうち、約4,500kmは、上記SPPプログラムの12県にあり、うち2,450kmは砂利道として整備する必要がある。しかし、地理的条件が厳しいため、政府直営中心で実施しなければならない状</p>

況にあるが、保有機材が不足している上に老朽化しているため工事の進捗が遅れ、計画期間の半分を経過した現時点で、完成度は20%以下に留まっている。このような状況を改善すべく、モロッコ国政府は、プロジェクト対象地域12県内の優先度の高い村落道路合計1,668kmの整備用機材を整備することによって、年間を通じて通行を可能とする。

地方村落道路整備計画

	県名	区間数	延長距離 (km)	延長距離・区間
ゾーン1 SLM-南部 [AGADIR]	オルザザーテ	6	251.0	710 km (32 区間)
	タルーダント	3	108.0	
	エッサウイラ	19	265.0	
	ティズニット	4	86.0	
ゾーン2 SLM-テンシフト [MARRAKECH]	エルケラア	4	99.7	537.2 km (18 区間)
	サフィ	4	53.5	
	アジラール	3	175.0	
	マラケシュ	7	209.0	
ゾーン3 SLM-中北部 [FES]	シディカセム	5	57.3	420.9 km (24 区間)
	アルホセイマ	4	113.0	
	タザ	2	33.0	
	タウナテ	13	217.6	
合計		74	1,668.1	

4. 事業の内容

(1) 対象

オルザザーテ県、タルーダント県、エッサウイラ県、ティズニット県、エルケラア県、サフィ県、アジラール県、マラケシュ県、シディカセム県、アルホセイマ県、タザ県、タウナテ県、各県内地方村落道路

裨益人口：村落地域の約5,500,000人

(2) アウトプット

対象地域内地方村落道路のうち未整備区間、74区間、1,668kmが年間を通じて通行可能な全天候型道路となる

(3) インプット

対象地域を3ゾーンに分け、各ゾーンの道路を管理する地域整備局・資機材管理課 (SLM) に道路整備用機材一式を配備し、各ゾーン内未整備地方村落道路を約7年間で整備する。

SLM 南部	: 32 区間、710 km	}	合計 74 区間、1,668 km
SLM テンシフト	: 18 区間、537 km		
SLM 中北部	: 24 区間、421 km		

各 SLM への配備機材一式：

ブルドーザ1台、ホイールローダ1台、モータグレーダ1台、油圧ショベル1台、振動ローラ1台、ダンプトラック5台、散水車1台、コンプレッサ2台、トラック・トレーラ1台、給油脂車1台、小型トラック1台

(4) 総事業費

9.26 億円(機材調達費)

(5) スケジュール

2001年1月から11ヶ月(コンサルタント契約締結から道路機材の引渡しまで)

2002年(機材配備)から7年間の道路整備工期を予定

(6) 実施体制

モロッコ王国、設備省道路交通局、地域設備局・資機材管理課 (SLM)

5. 成果の目標

(1) 対象地域内の地方村落道路の整備

	2001年(実施前)	2010年(道路整備完了後)
対象地域の未舗装村落道路	「村落道路国家計画」対象 2,450km(1955年)	
道路整備	(未整備 1,668km)	1,668km(整備済み)

6. 外部要因リスク

(1) 本プロジェクトで調達する機材で、74区間、1,668kmの村落道路を2002年から約7年間で整備することになるが、現時点での施工の優先順序が設定されている。しかし、工期7年という長期間には優先順序を決定した疎外度、社会・行政重点度、農業生産重点度の指数も変化するものと考えられるので、対象路線区間変更の可能性がある。

(2) 全天候砂利舗装による計画村落道路の整備が完了するのは2009年の予定であるが、砂利舗装であることから完成後は定期的な道路維持管理を実施しなければ、劣化が進行する。従って、初期に整備を実施した道路が維持管理されなければ、8年後は元の状態に戻っている可能性がある。

7. 今後の評価計画

(1) 事後評価に用いる成果指標

- 1) 対象地域内道路を整備する資機材管理課 (SLM) へ所定の道路機材を配備
- 2) 対象地域内の未整備地方村落道路 74 区間、1,668km が整備される

(2) 評価のタイミング

- 1) 道路機材配備し、道路整備を開始した時点の事後評価(2002年4月頃)
- 2) 対象地域の道路整備完了後、2010年を目処に事後評価